

御和会だより 第20号(平成28年6月)

梅雨に入りました。雨に洗われた庭の植木の葉がまぶしく光っています。

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年早々日本列島は強い寒気に覆われ各地に記録的な大雪となり交通機関が大混乱となり、特に都内の電車に乗る乗客は構内に入ることができない駅もあり、那覇では氷あられが降り29年ぶりの観測とのこと、年々気象状況が厳しくなっている状況です。

東日本大震災は、3月11日で発生から5年を過ぎ避難者は、なお17万4千人の方々各地で暮らしております。それでも大震災を風化させないと歩み続け被災地の皆さん方の努力で復興に少しずつ前進しつつ、頑張っています。また、福島原発廃炉作業は長期化に及び復興への道は遠く被災者の悲しみは癒えない。原発事故の恐ろしさを感じさせられます。当、浜岡原発も同じような事故がいつ発生するかわかりません。想定外を許さない無事故を祈るのみです。4月14日には、九州全般に熊本地震が発生、特に熊本・大分県には建物の倒壊、土砂災害、多数の死傷者等の被害が出ており災害現場の厳しい現実を突きつけられます。静岡県も東海地震が、いつ発生するかわかりません。防災意識を改めて考えさせられます。

北海道新幹線が3月26日に開業し、鹿児島まで列島を縦断するネットワークがつながりました。

6月4日(土)御前崎分屯基地58周年記念行事が行われました。午後から祝賀会が体育館にて、新御前崎柳沢市長、前石原市長をはじめ、後援会等と来賓のもと、基地一般公開せず行われました。

定期総会は祝賀会前に会員24名の出席者のもと、皆様のご協力により終了することができました。

- 1 総会欠席者等で、会費未納の方は総会資料に同封しました「郵便払込取扱」をお願いします。
- 2 御前崎分屯基地の100m鉄塔アンテナの取替え工事中で今度は70m位とのこと。
- 3 御前崎分屯基地の玄関、警衛所が新しく建て替えられました。
- 4 御前崎灯台化粧直し(静岡新聞より抜粋)

シンボル御前崎灯台の外観が全面的に塗り替えられることになり13年ぶりの化粧直しで「白亜の灯台がよみがえる」地元観光関係者は喜んでます。この灯台は、灯台の父と呼ばれる英国人(リチャード・ブランド)が設計、明治7年に建てられた。歴史的、文化的価値の高い最上位のAランクに指定されているそうです。

- 後列
松下 寺尾 松村 土屋 平瀬
丸山
- 中列
山下 植田 小野寺 山本 吉國
村松 上村 赤澤 代田
- 前列
桜井 坂田 柴崎 原口 川上
広瀬 高橋 清水



新警衛所



御前崎灯台



親睦日帰り旅行
浜松広報館・浜名湖グラウンド・ゴルフパークにて
(代田さん写真提供)